

集落实態調査の進め方について

- 前回（H23）の調査結果を受け、集落活動センターの取組など中山間対策を抜本強化し、関連施策を推進してきたことにより、中山間対策は一定前進
- 一方、さらなる人口減少・高齢化の進展に伴い、産業や地域づくりの担い手不足や集落の活力の減退など、より一層深刻化する課題に対応するための新たな施策づくりを検討することが必要

[参考] 前回調査の概要(平成23年度)

調査の内容

〈集落实態調査〉 中山間地域の50世帯未満の集落を対象に聞き取り調査(1,359集落)とアンケート調査(109集落)を実施

◆主な調査項目

〈集落活動〉

- 集落の地域活動、共同作業、行事の状況
- 集落の将来 ○ 集落を活性化するための取り組み
- 移住者の受け入れの意向

〈生活環境、安全・安心〉

- 生活用品・飲料水・移動手段の確保、現状

〈産業振興〉

- 集落の基幹産業の現状
- 野生鳥獣による農林業被害の状況

結果の概要

- 人口減少、高齢化の進行による様々な活動の後継者不足、生活への不安、鳥獣による被害など、中山間地域の集落の課題が数字によって明確化
- 一方、人口減少や厳しい生活環境に関わらず、地域への愛着と今後も地域に住み続けたいという住民の思いを確認

- 今後（おおそ10年後）の集落の姿
 - ・ 衰退・消滅しているという悲観的な回答 75.1%
- 地域に対する思い
 - ・ 集落への「愛着」「誇り」を感じる 93.0%
 - ・ 今後も地域に住み続けたい 76.7%



これまでの主な取組（H24～R3）

○中山間対策関連施策の強化

- ・ 集落活動センターを核とした仕組みづくり（H24～R2:62か所）
- ・ 生活環境の整備などの「生活を守る」取り組み、産業振興計画を中心とした「産業をつくる」取り組みの2本柱で施策を展開

○庁内の推進体制の強化

- ・ 中山間総合対策本部の本部長に知事が就任（H24.2～）
- ・ 中山間対策を所管する部署の創設（H24～）
- ・ 地域支援企画員（集落支援担当総括）の設置（H26～）

令和3年度集落实態調査の概要

1 調査の目的

- ◇ 地域の実情や住民意識、思い等について **前回調査からの経年変化の把握**
- ◇ これまで **10年間の中山間対策の取り組みの検証**（集落活動センターや生活支援の効果など）
- ◇ 中山間地域の **新たな課題やニーズの抽出**と、それに対応するための **新たな中山間対策の施策づくり**

2 調査の内容

〈集落实態調査〉 中山間地域の50世帯未満の集落を対象に聞き取り調査(約1,560集落)とアンケート調査(約100集落)を実施

◆主な調査項目

〈集落活動〉

- ① 集落の実態や活動状況、集落の将来像、地域への誇り
- ② 集落活動センターの認知度・期待、参画意向
- ③ 集落で今後取り組みたいこと、この地域に住んでよかったこと
- ④ 移住定住に向けた空き家確保対策

〈生活環境、安全・安心〉

- ① 生活用品・飲料水の確保、現状
- ② 移動手段の課題、自家用車以外の代替手段
- ③ デジタル技術の活用分野
- ④ 見守り活動、あったかふれあいセンターへの期待

〈中山間の産業づくり〉

- ① 産業振興につながる資源、産業振興に必要なもの

3 主なスケジュール

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R4年度～
集落調査	聞き取り調査			アンケート調査	中間報告	データ調査		とりまとめ		最終報告	結果を市町村にフィードバック ⇒ 地域活性化の戦略づくりにつなげる
各部署での対応	聞き取り調査への同行			部局等会	施策のバージョンアップを検討		部局等会	本部会			<第3弾> R5予算に反映 <第2弾> R4(補正)予算に反映 <第1弾> R4予算に反映
	令和4年度予算編成										

4 調査結果の活用方法

①新しい中山間対策の基本方針や政策体系の構築

- ② 県の予算への反映 ※三段階で実施
 - 集落活動センターの取組強化、地域の担い手となる人材の育成・確保、「生活を守る」「産業をつくる」取組の強化、地域づくりの強化 など

- [第1弾] 早急に対応するもの：R4 予算に反映
- [第2弾] 最終報告を踏まえた対応：R4(補正)予算に反映
- [第3弾] 新たな施策の本格展開：R5予算に反映

③各分野の連携強化と既存施策の融合

- 既存施策を融合させ、より効果的な支援策へと強化

④市町村へのフィードバック

- 地域活性化の戦略づくり（市町村予算等への反映）

⑤国への政策提言

- 中山間関連施策に関する予算の拡充、条件不利地域の生活環境・経済活動等における規制の緩和、中山間地域の資源が持つ公益的機能の評価 など

集落实態調査 (R3) 質問項目【案】

分類	内容	設問の概要	質問数	
			集落聞き取り調査	住民アンケート調査
世帯				
自身		年齢、集落居住歴、仕事 等	—	4
集落活動				
集落の組織体制、人材	地区会の状況	地区会の開催状況・参加者の状況、10年前の状況、10年後の見通し	4	2
	世話役・後継者の存在	リーダーの有無、後継者の有無、今後の確保	2	—
集落活動の状況	活動団体の状況	集落内の活動団体の状況	1	—
	集落活動センター	新 集落活動センターの認知度・期待、参画意向	1	4
	集落活動の状況	地域活動、共同作業・行事の内容、参加状況、継続困難な場合の対応	2	3
	地域への愛着・自慢	集落への愛着・誇り・自慢、 新 この地域に住んで良かったこと	2	3
集落の今後	集落の将来像	集落の将来像(10年後)	2	3
	定住の意向	新 家族や親類の意向、 拡 集落への定住意向	—	5
	家の管理	新 家の管理に対する不安、今後の管理方法	—	2
	集落の活性化	拡 地域資源の活かし方、活性化への取組、地域外との交流、特産品づくり	4	2
	近隣集落との連携	近隣集落との連携による活動・行事	1	—
移住・定住の取組	空き家の状況	空き家の有無・軒数、 拡 空き家確保対策	1	—
	Iターン者の受入	受入実績・課題、移住者の受入への支援	2	—
	集落出身者との交流	集落出身者との交流行事	1	—
	Uターン者の状況	受入実績、移住者の就労状況、地域活動	1	—
生活環境				
	飲料水の確保	飲料水確保の課題	1	—
	生活用品の確保	生活用品確保の状況・課題、 拡 商店が無くなった場合の代替手段	2	3
	移動手段	新 公共交通の課題、 拡 移動手段の状況・課題、自家用車以外の代替手段	1	7

分類	内容	設問の概要	質問数	
			集落聞き取り調査	住民アンケート調査
ライフラインの状況	情報通信	拡 通信環境、デジタル技術の活用分野	2	3
	医療機関	かかりつけ医療機関の場所	—	1
	収入	経済的に満足する水準	—	1
	鳥獣被害	鳥獣被害の有無・対策への支援策	1	—
	生活環境	新 生活への満足度、日常生活で不便に感じていること	1	2
安全・安心				
福祉・健康	見守り活動	見守り活動の状況・課題	3	—
	地域住民の不安	生活への不安	1	—
	あったかふれあいセンター	あったかふれあいセンターへの期待	1	—
防災	自主防災活動	自主防災活動の内容	1	—
中山間の産業づくり				
産業の状況	集落の主要産業	過去・現在の産業の状況	4	—
	今後の展開	産業振興につながる資源、産業振興に必要なもの	2	—
農業	農業の現状・課題	農業従事者、 新 持続的な農業生産への課題	4	—
	農業所得の向上	農業所得向上に向けた取組・支援	2	—
林業	周辺の植林	新 植林しない理由、植林の必要性	1	—
集落活性化に向けて				
集落代表者として		新 集落代表者として取り組みたいこと、課題・悩み	3	—
意見		行政が力を入れるべき取組（生活、産業、その他）、 新 地域の前向きな動き	—	4
合計			54	49

<漁村集落への追加調査>

漁業	漁業の現状	漁業従事者、後継者、漁の種類	4	—
	経済活動	漁業所得の向上、販売方法、雇用の場、漁業以外の取り組み	5	—
	漁港施設	施設の問題点、沈廃船の有無、清掃活動	1	—